

進む！海洋・海事の拠点形成

海洋・海事に関する拠点形成の取り組みを紹介します。

令和7年10月1日

国内外から人材が集う「**知の拠点**」へ！／

「広島大学海洋・海事未来研究所」が呉に誕生！

構想の拠点として、海洋・海事の新たな研究領域や技術、人材を生み出していきます。

POINT① 海洋・海事に関わる研究分野を結集

海洋・海事分野は、幅広い分野の知見を結集させた学際的アプローチが欠かせない分野です。そこで本研究所では、多様な研究分野の専門家が国内外から集う「**知の拠点**」を目指します。

— 結集した研究分野 —

- ・海洋政策・海洋ガバナンスの研究
国際海洋法・海洋行政、経済安全保障・国際貿易、海洋資源マネジメントなど
- ・海洋利用技術の研究
造船、海上交通、物流、海洋情報、センシングに関わるDX化など
- ・海洋環境・海洋資源の研究
水産・漁業、海洋環境に関わるGX・DX、マリンバイオテクノロジー、ブルーカーボン、海洋エネルギーなど



▲広島大学海洋・海事未来研究所
(広島大学生物生産学部附属練習船基地に併設)



POINT② 研究だけでなく、教育や国際・産学連携の役割も！

この研究所は単なる研究拠点にとどまらず、海洋・海事分野におけるグローバルに活躍する人材の教育機能も担います。また、国際連携や産学協働を推進する起点として、分野や国の枠を超えた多様な取り組みを生み出す拠点となることを目指します。

今後の展望

国際的な海洋・海事の拠点形成に向け、海洋・海事未来研究所の設置に続き、さらなる機能の充実も予定しています。

令和8年度

「海洋リモートセンシング技術センター」の設置

広島大学と推進している「海洋リモートセンシング技術（衛星やドローンなどで遠隔から海の状態を高精度に観測する技術）を核とした海洋文化都市共創拠点」の取り組みが、昨年、国立研究開発法人科学技術振興機構の「共創の場形成支援プログラムー地域共創分野（育成型）」に採択。こうした取り組みを進めるため、海洋・海事未来研究所内に「海洋リモートセンシング技術センター」を設置します。

令和9年度以降

高度海洋・海事人材を育成する大学院の開設を目指す

世界の海洋・海事分野を牽引する次世代人材を育成するため、修士、博士号を取得できる大学院の学位プログラム開設を目指します。国内外から広く学生を受け入れる想定で、市所有の呉駅西中央ビルの活用を予定しています。呉市・広島大学 Town & Gown 構想では、これまでに培ってきた教育研究基盤を生かし、産学官が連携して多様な人材育成に取り組めます。

特集

タウン&ガウン ～呉市・広島大学Town&Gown構想～

海洋・海事のまちづくり

問 企画課 ☎ 25-3273

「海洋・海事」に関わる諸課題の解決や、地域経済の活性化などに取り組んでいる「呉市・広島大学Town&Gown構想」。今回はその進捗をお伝えします。



▲呉湾の風景

タウン&ガウン Town&Gown構想とは

市（タウン）と大学など（ガウン）が包括的に連携して取り組む構想。持続可能な未来のビジョンを共有し、行政資源と、大学などの教育・研究資源を融合しながら活用することで、双方の発展を目指します。呉市では、広島大学、海上保安大学校、笹川平和財団に加えて、関係企業・団体とともに、「海洋・海事」をテーマに取り組んでいます。
※大学などを指すガウンは、実際に海外の卒業式などで着るガウンが由来。

呉市では、令和5年に締結した「呉市・広島大学 Town & Gown 構想」を推進するための協定により、関係企業・団体と力を合わせながら、海洋・海事分野の研究・人材育成や、関連産業の創出・育成、国際的な研究機関の誘致などを行い、「海洋文化都市くれ」の実現を目指しています。
そうした中、令和7年10月1日に「広島大学海洋・海事未来研究所」が呉市宝町に設置されました。
今後は、この海洋・海事未来研究所を中核とし、広島大学による海洋リモートセンシング技術センターの設置や海洋・海事系の文理融合型大学院の学位プログラム開設へ向けた検討など、呉市と広島大学が互いに力を合わせて、国際的な教育研究拠点の形成を進めていきます。

海洋・海事の国際的な拠点を目標として



海洋・海事に関する「国際学会」が開催

・アジア太平洋船舶海洋構造工学会議

船舶海洋構造工学の国際会議が開催されました。アジア太平洋地域の研究者及び技術者が、船舶・海洋構造物について、最近の研究成果や新しいアイデアの情報交換を行いました。講演や研究発表に加え、技術・文化ツアーなども実施しました。日本のほか、台湾、韓国、中国などのアジア太平洋地域から、約140人の研究者及び学生が参加しました。(昨年 9/25 ~ 28)



・世界船舶海洋工学フォーラム

日本船舶海洋工学会が主催する国際会議が開催されました。この会議は、「安全・安心な海」について考え、その持続的発展に貢献する海洋・海事ガバナンスと科学イノベーションを目指すことを目的としています。オンラインを含めて、約10カ国から約90人の研究者及び学生が参加しました。(昨年 12/9)



海洋・海事の 知の拠点へ

近年、呉市で行われた海洋・海事における学会やシンポジウムを紹介します。

「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトにおけるシンポジウムを開催

・キックオフシンポジウム

呉市の海洋・海事に関する知識や技術に、広島大学の海洋リモートセンシング技術を掛け合わせることで、持続可能な地域づくりを進めている「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトにおいて、「キックオフシンポジウム」を開催。当日はオンラインを合わせ、約200人が参加しました。(3/28)

・第2回 シンポジウム「海の技術が拓く呉の未来」

“海の技術”が地域社会にもたらす新しい可能性を、研究者、地域住民、行政や企業の関係者などで共有し、次のステップを考えました。(7/26)



＼海洋・海事の未来をつくる！／

呉が世界の人材育成の場に！

呉市・広島大学Town&Gown構想に基づき、呉市では海洋・海事に関する人材育成が活発に行われています。



▲海洋・海事の先端技術に触れる
サマーコースに参加した学生たち

広島大学の「サマーコース」を呉市で開催



日本と欧州の大学連携や学生交流を促進するとともに、AIを活用した海洋・海事分野の課題解決や、地域の持続的発展に貢献するビジネスモデル構築を目指す、広島大学の「サマーコース」の一部が呉市で開催されました。(呉市での実施は16日間のうち 8/25 と 9/3) 幅広い国籍の16人が参加し、海洋・海事分野に関する講義や地域の現状把握、企業訪問・見学、グループワークなどを行い、最終日にはコンペ形式で呉市の活性化に向けた提案のプレゼンテーションも実施しました。

令和9年に「国際海洋リモートセンシング会議」が呉で開催決定！

国際海洋リモートセンシング会議は、海洋リモートセンシング技術に関連する専門家が世界中から集まり、最新の研究動向の共有や国際的な協力を促進することを目的とした国際会議です。この会議が令和9年に呉市で開催されます。呉市では、呉市・広島大学 Town & Gown 構想の取り組みや、広島大学と推進している「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトの一環で、今年4月に台湾の基隆市で開催された国際海洋リモートセンシング会議に職員を派遣。呉市の PR や誘致活動を行った結果として、令和9年に呉市での開催が決定しました。



▲4月に基隆市で開催された会議の様子

☑ 海の安全を守る人材育成「海上保安政策プログラム」

海上保安分野の専門家を育成する世界初の修士課程「海上保安政策プログラム」では、アジア諸国の海上保安機関職員を日本に招へいし、各国海上保安機関との相互理解につなげています。海上保安庁と政策研究大学院大学との連携プログラムであり、独立行政法人国際協力機構 (JICA) が支援しています。その後期課程 (4月~7月) が呉市の海上保安大学校で実施され、アジア太平洋地域から9人が参加しました。呉市・広島大学 Town & Gown 構想においてもこの取り組みを支援しており、帰国後は、各国での海上保安政策の立案・実践などで活躍が期待されます。



▲プログラムの様子

呉市・広島大学 Town & Gown構想の **歩** み

構想のスタートから約2年。
これまでの歩みを振り返ります。

令和5年9月

“呉市にアジアの海洋・海事の国際的拠点をつくる”をテーマに、「呉市・広島大学Town&Gown構想シンポジウム」を開催



呉といえば、
やっぱり海！



令和6年10月

広島大学と推進する海洋リモートセンシングの取り組みが、国立研究開発法人科学技術振興機構による「共創の場形成支援プログラム地域共創分野・育成型」プロジェクトに採択

令和6年11月

＼大人も子どもも楽しめる！／
海に関する仕事や研究、最新技術に触れることができ、体験型で楽しく参加できる「海洋文化都市くれ海博2024」を大和波止場で開催



▲世界初の水素燃料旅客船

令和7年6月

「呉市・広島大学Town&Gown Office」を市役所9階に開所

令和7年7月

キックオフシンポジウムに続き、第2回公開シンポジウム「海の技術が拓く呉の未来」を開催

令和7年10月

＼New／
「広島大学海洋・海事未来研究所」がオープン ※詳細 3P

▼最新の取り組みは
こちら



「海洋文化都市」の実現に向け、

今後も歩みを進めていきます！



令和5年7月 〳海洋文化都市を目指す構想が始動！／
広島大学・海上保安大学校・笹川平和財団と、「呉市・広島大学Town&Gown構想の推進に向けた海洋・海事の国際的拠点の形成等に関する協定」を締結



令和6年1月

行政や教育機関、海洋・海事に関わる団体、企業などと連携し、“海洋文化都市”としての発展を目指すため、「呉市・広島大学Town&Gown構想 海洋文化都市くれ推進協議会」を設立



令和6年11月

毎年日本各地で開催している「海洋教育フォーラム」を、“海を舞台とした最先端技術のこれまでとこれから”と題し開催

令和7年3月

「海洋リモートセンシング技術を核とした海洋文化都市共創拠点」プロジェクトの「キックオフシンポジウム」を開催

令和7年5月

「海洋文化都市くれ海博2025」を海上保安大学校の海神祭と合同開催



▲海の魚と触れ合えるタッチプール

呉市・広島大学Town & Gown Officeが開所！

市役所9階に呉市・広島大学Town&Gown構想を推進するためのオフィスを開所しました。構想に関わる人たちが集い、つながりを生み出す空間となっています。(6/30～)



☑ 新オフィスの5つの機能

・展示 / 情報発信

展示スペースを設け、企業情報や研究成果を発信し、地域との連携に生かします。

・交流

ミーティングスペースを設け、産学官の交流や意見交換の場として活用します。

・ビジネス支援

コワーキングスペースや打ち合わせスペースを設け、起業・連携活動の支援に生かします。

・拠点形成

呉市・広島大学Town&Gown Officeの事務所を設け、地域と大学の連携拠点とします。

・研究

広島大学海洋・海事未来研究所のサテライトを設け、市内中心地における研究を推進します。



▲開所記念式典の様子（左から 金子 慎治 広島大学理事・副学長、越智 光夫 広島大学学長、新原 芳明 呉市長、中田 光政 呉市議会議長）

呉市・広島大学Town & Gown Office フロアマップ

海洋・海事に関する
展示や情報が充実！

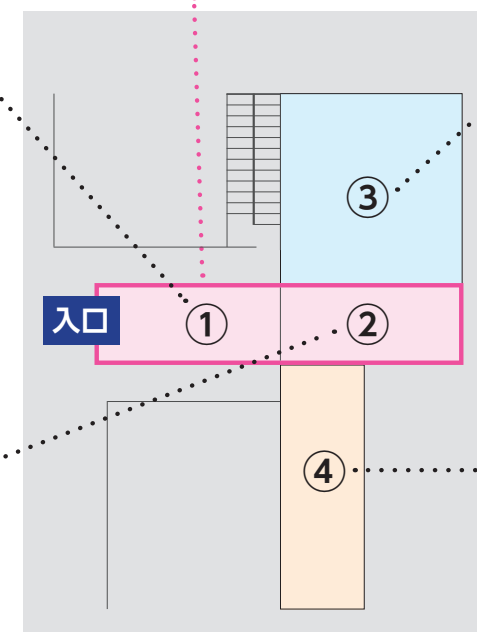
①展示 / 情報発信スペース



②交流・ビジネス支援スペース



オープンスペースとして、
自由に集える空間に



③事務室スペース



④広島大学海洋・海事 未来研究所 サテライト



◀詳しくは
こちら